

**「元気福井っ子笑顔プラン」
アンケート集計結果**

平成 1 9 年 1 2 月

福井県教育委員会

「元気福井っ子笑顔プラン」のアンケートについて

1 目的

「元気福井っ子笑顔プラン」の成果と課題を検証する。

2 調査期間

平成19年9月5日～9月21日

3 概要

平成18年度または19年度において、「元気福井っ子笑顔プラン」により教員加配等の対象となった学校を抽出し、成果の内容、意見、要望等について調査

区 分	回 答 数		
	学校 (校)	児童・生徒 (人)	保護者 (人)
低学年学校生活サポート (非常勤講師の配置)	25	956	634
低学年学校生活サポート (ボランティアの導入)	50	1,341	534
T・T、少人数指導 (教員の加配)	38	1,237	978
少人数学級編制 (教員の加配)	50	1,275	1,178

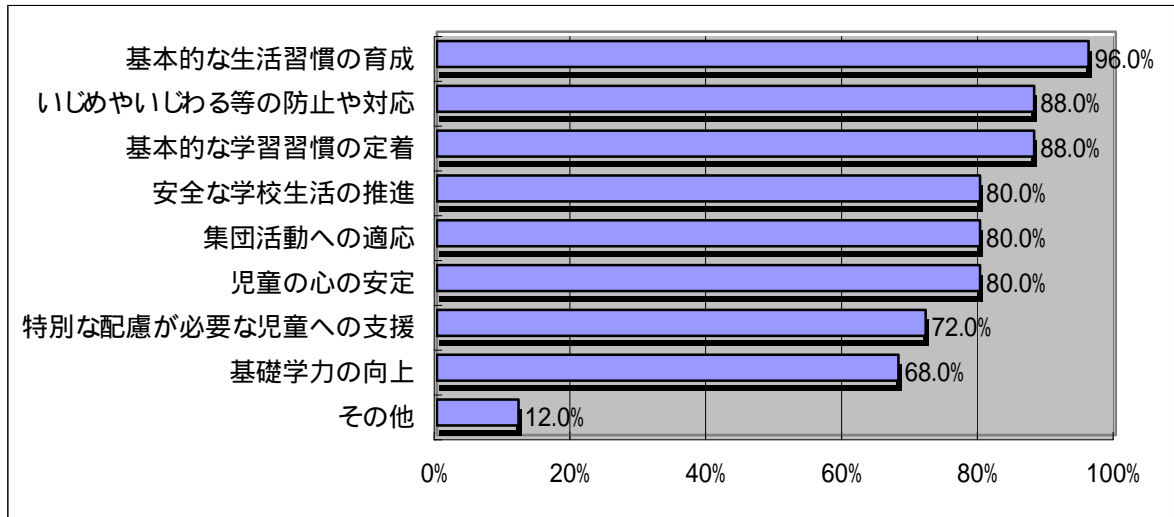
児童・生徒および保護者については、調査校で任意に抽出した1学級が対象

低学年学校生活サポート（非常勤講師の配置）

どのような効果があったか（学校の回答）

回答数 25 校

複数回答



【効果の具体例】

基本的な生活習慣の育成

- ・ 朝の活動までにランドセルが片付かない子、学習の準備が遅い子、提出物が出せない子をサポートすることで、時間を守って行動することができるようになった。
- ・ 児童があいさつをしたりルールを守ることができるようになり、学級活動が円滑に進んだ。

いじめやいじわる等の防止や対応

- ・ 休み時間も児童と触れ合うことができ、トラブルの解決やいじめを未然に防止することができた。
- ・ 児童のちょっとした言動を把握できることから、児童同士の関係を早くつかむことができ、指導の改善に役立った。

基本的な学習習慣の定着

- ・ 姿勢、鉛筆の持ち方などきめ細やかな指導ができた。
- ・ 手遊びやおしゃべりをして授業に集中できない児童に個別に指導することで、教員や友達の話が聞けるようになった。
- ・ 宿題をしてこない児童や直しの多い児童には、休み時間にも個別に支援でき、漢字の習熟度が上がった。

安全な学校生活の推進

- ・ 校外学習など、学習の場が広がった時にも目が行き届くようになった。
- ・ 担任がどうしても教室を離れなければならないときでも、安心して教室を離れることができた。
- ・ 危険な遊びやケガなどへの対応が迅速にできた。

集団活動への適応

- ・ 授業で教室の移動が必要な場合、児童が移動する時間差に対応することができた。
- ・ 当番活動を補助することで、児童が学級内で自分の役割を果たすことができた。

児童の心の安定

- ・授業中、そばにいてもらうことで、安心して学習に取り組むことができる。
- ・休み時間など一緒にいる時間が増えることで、担任から叱られた児童をフォローすることができた。
- ・悩みなどを聞いてもらい、心が穏やかになっている児童が多い。

特別な配慮が必要な児童への支援

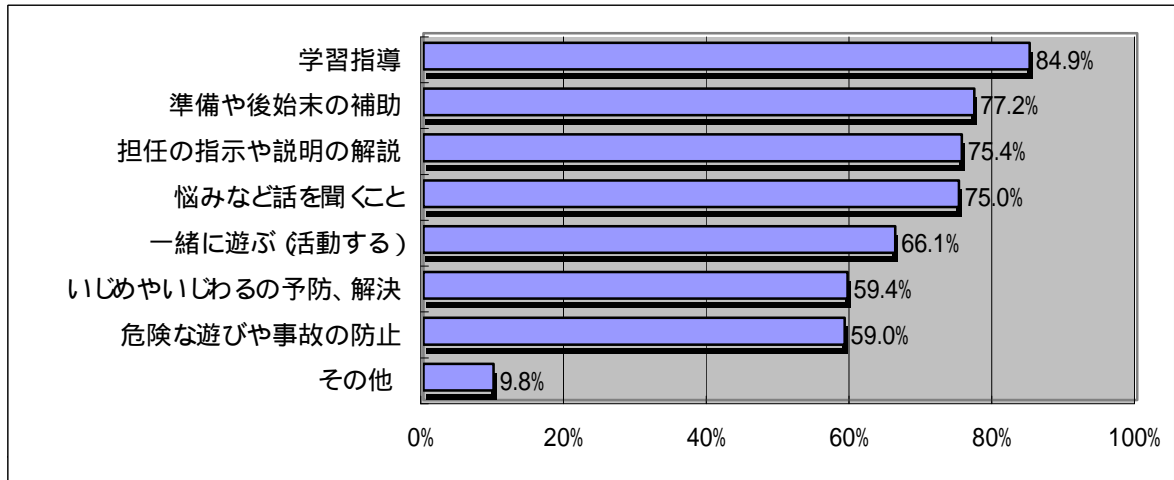
- ・学習が遅れがちな児童に、個別に対応してもらえるので、他の児童への負担にならず、本人も安心して取り組むことができた。
- ・他の児童とのトラブルの回数が減少した。

基礎学力の向上

- ・新しい漢字や計算を学習する時など、初期のつまづきを解消できた。
- ・学習が遅れ気味な児童に対しても個別指導ができ、基礎的なテストで全員が合格することができた。

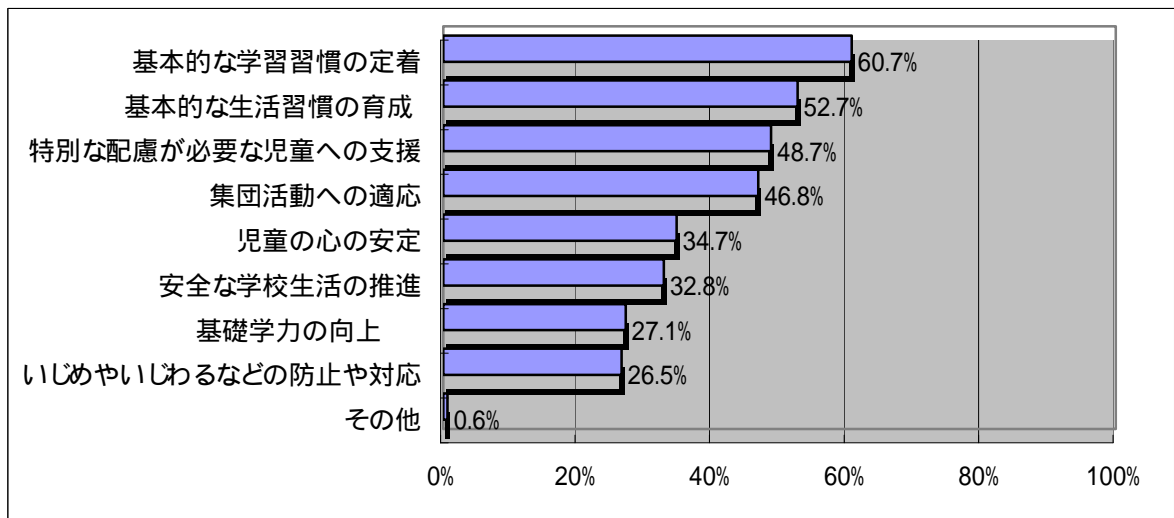
どのような支援をしてくれるか（児童の回答）

回答数 956 人 （ 25 校 ） 複数回答



どのような効果があったか（保護者の回答）

回答数 634 人 （ 25 校 ） 複数回答



【意見】

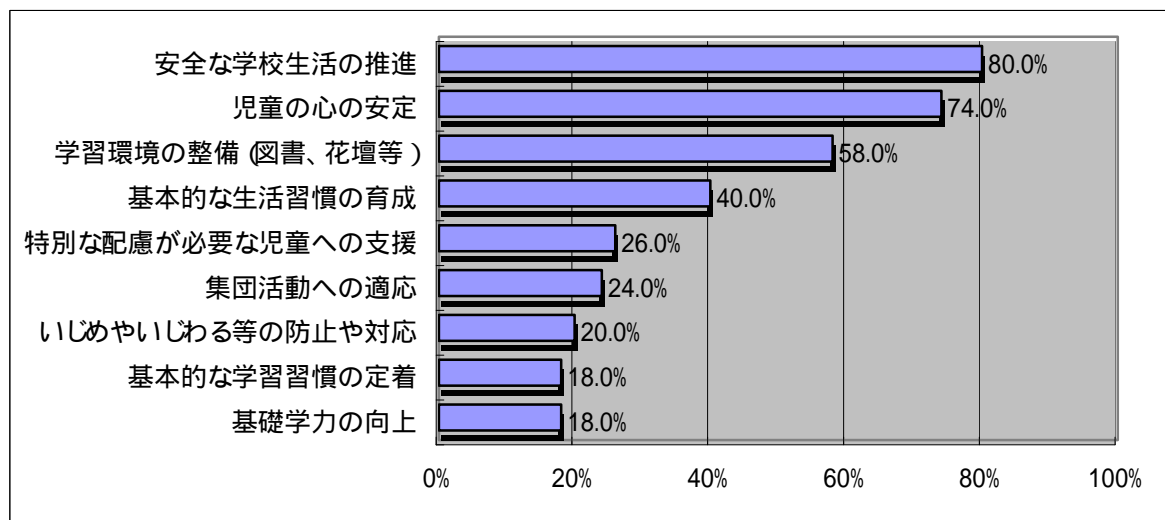
- ・ 児童が低学年のうち、さらに目が行き届くよう、サポートの先生を配置してもらいたい。
- ・ 中・高学年でも支援が必要な場合には、サポートの先生がいるとよい。
- ・ ありがたい制度だが、子どもが自分で生活する力が育たないのではないか。

低学年学校生活サポート（ボランティアの導入）

どのような効果があったか（学校の回答）

回答数 50 校

複数回答



【効果の具体例】

安全な学校生活の推進

- ・「見守り隊」として登下校の安全確保に役立っているとともに、登下校時の状況を伝えてもらうことにより、学校外における児童の様子も把握できた。
- ・登下校のみならず、校外学習、学校行事（マラソン大会、交通安全教室等）、授業（プール学習等）においても、交通安全や不審者対応といった安全確保ができ、教員も安心して指導できる。
- ・鍬や鎌など、危険な道具を使用する際に、熟練したお年寄りが正しい使い方を指導してくれることは、大変心強い。

児童の心の安定

- ・読み聞かせをしていただくことで、いろいろな本に親しむきっかけづくりになり、児童の心が豊かになった。特に、朝学習として行った後の朝の会は穏やかな気持ちで始めることができる。
- ・友だちとうまくコミュニケーションをとることのできない児童にとって、気軽に話を聞いてもらうことができる。
- ・昔遊びなどでお年寄りと遊ぶ、お年寄りから教えてもらって遊ぶなど、特に核家族の子どもにとっては貴重な時間となり、心が豊かになっている。

学習環境の整備（図書の整理、花壇づくり等）

- ・図書室、学級文庫の環境整備や本の貸し出しや返却、新刊本の登録など、図書館経営のお手伝いをしていただくことで、子どもたちにとって居心地のよい場所になっており、休み時間は子どもが多く集まっている。
- ・野菜を育てる学習で、授業における苗の植え方や育て方の指導に加え、事前に畑の整備をしてもらうことで、円滑に授業を進めることができた。

基本的な生活習慣の育成

- ・登校中の児童への挨拶、声かけ等により、児童に挨拶する態度が身に付いた。
- ・落ち着いて集中して話を聞いたり、学習する態度が身に付いている。

特別な配慮が必要な児童への支援

- ・ 授業中に教室を飛び出していってしまう児童を落ち着かせ、教室に戻してくれる。
- ・ 特別支援学級在籍児童について、担任の指示の補足説明をしたり、活動の補助、体調管理をすることで、他の児童と同じように学習に参加できるようになった。

集団活動への適応

- ・ 集団行動についての個人差が大きいため、個別に対応することで集団についていけるようになる。（朝礼や朝の会の話の聞き方、校外学習でのグループ活動等）

いじめやいじわる等の防止や対応

- ・ 登下校や校外での体験的な学習の際は、いたずらやふざけたりするケースが多いことから、これらの時にボランティアの方の指導があることは、いじめの抑止にもつながる。

基本的な学習習慣の定着

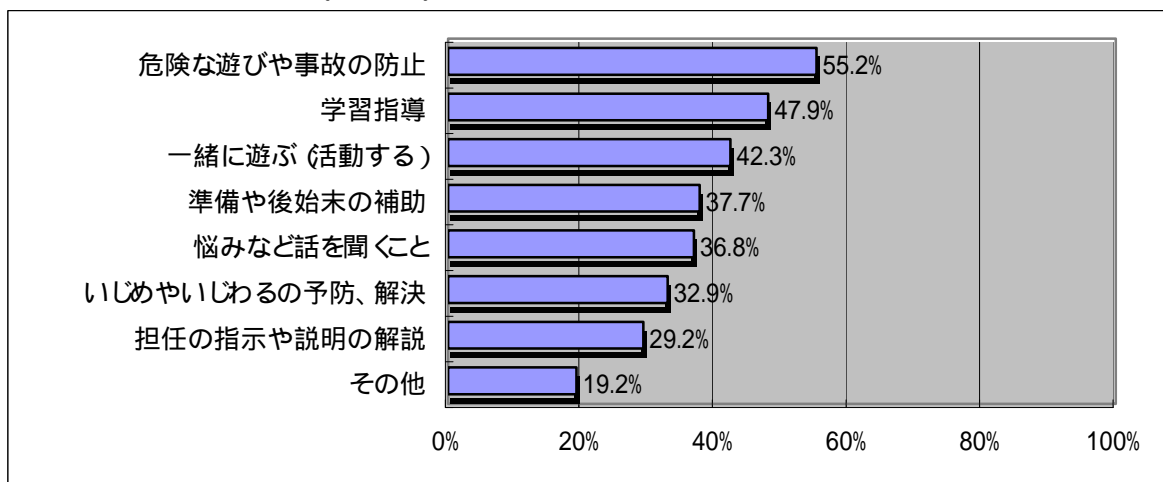
- ・ 遊びやおしゃべりをして授業に集中できない児童に個別に指導することで、教師や友だちの話が聞けるようになった。

基礎学力の向上

- ・ 平仮名の字形、筆順などがきちんとできているかを担任と分担して個別に確認することができた。

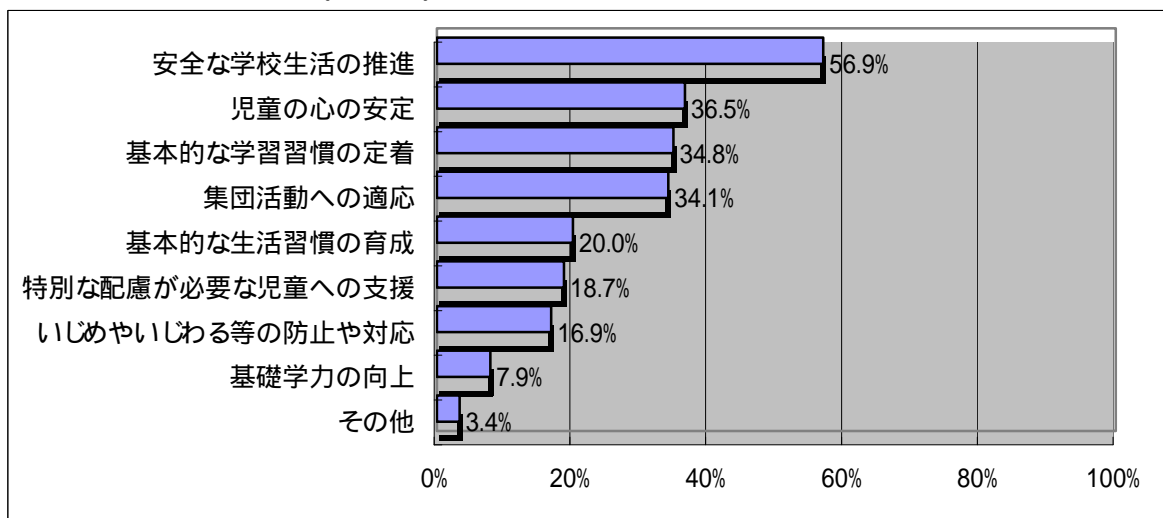
どのような支援をしてくれるか（児童の回答）

回答数 1,341 人 （50 校） 複数回答



どのような効果があったか（保護者の回答）

回答数 534 人 （50 校） 複数回答



【意見】

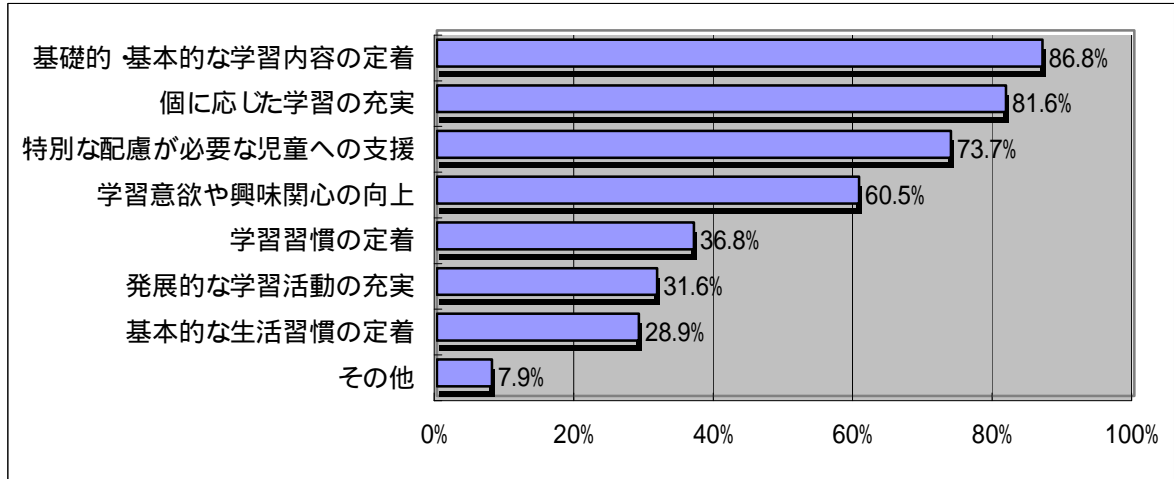
- ・ 子どもたちが地域の人々と関わる機会が少なくなっているため、こういう形で触れあうことができ、良いことだと思う。
- ・ 地域の皆さんに見守っていただけると安心感がある。
- ・ 保護者という立場であるが、ボランティアとして学校生活に関わるのは、参観日とは別に、子どもたちの様子がよく分かり、親にとってもいい機会だと思う。
- ・ 高学年にも普及するとよい。
- ・ 良い施策だとは思いますが、ボランティアに頼りすぎるのは良くない。人材にも限りがあると思うし、ボランティアが強制になることもおかしいと思う。ボランティアはあくまでもサポートとして、基本的な教育体制を整備してほしい。

T.T、少人数指導

どのような効果があったか（学校の回答）

回答数 38 校

複数回答



【効果の具体例】

基礎的・基本的な学習内容の定着

- ・ 学習内容の理解が遅い児童に解決の手がかりとなるヒントを与えたり、自信を持たせるための声かけをする時間が十分に確保できた。
- ・ 少人数指導やT.T指導を行った算数や理科は、県学力調査の県全体と比べ平均点が高かった。
- ・ 算数のコンパスによる作図やグラフの書き方、分度器による角度の測り方など、授業において個別指導が必要な場面の対応が充実した。

個に応じた学習の充実

- ・ 授業を受ける児童の人数が少ないため、一人ひとりの理解度やつまずき箇所が正確に把握でき、個に応じた迅速な指導ができる。
- ・ 計算が得意な子はいろいろな問題に挑戦し、苦手な子は物を使いながら計算問題に取り組むなど、習熟度別に学習することにより個に応じた学習の充実が図られた。

特別な配慮が必要な児童への支援

- ・ 習熟度別クラス編制により、特に支援を必要とする児童に配慮することで、落ち着いた環境の中で指導ができた。その結果、少しずつ自信をつけ、授業に参加できるようになった。
- ・ 気がかりな児童（能力的に低い子、すぐトラブルを起こし人や物に当たり散らす子、席を離れてうろうろする子等）の様子を見ながら、随時、次の指示を出したり落ち着かせたり等の対応ができる。

学習意欲や興味関心の向上

- ・ 子ども達にとって発表しやすい状況になるので、授業中に受け身にならず、意欲が向上する。
- ・ T.Tによる学習で児童1人ひとりが分かったという満足感や自信を感じることができ、意欲向上へとつながっている。

学習習慣の定着

- ・ 学習規律の徹底が少人数で指導しやすくなった。（発表の仕方、話の聞き方）
- ・ 家庭学習の提出など人数が少ないので、目が行き届く。指導も徹底するので、宿題忘れが減った。

発展的な学習活動の充実

- ・ 習熟度別にグループ分けすることで、理解の早い児童には、より多くの応用問題に取り組ませることができた。

基本的な生活習慣の育成

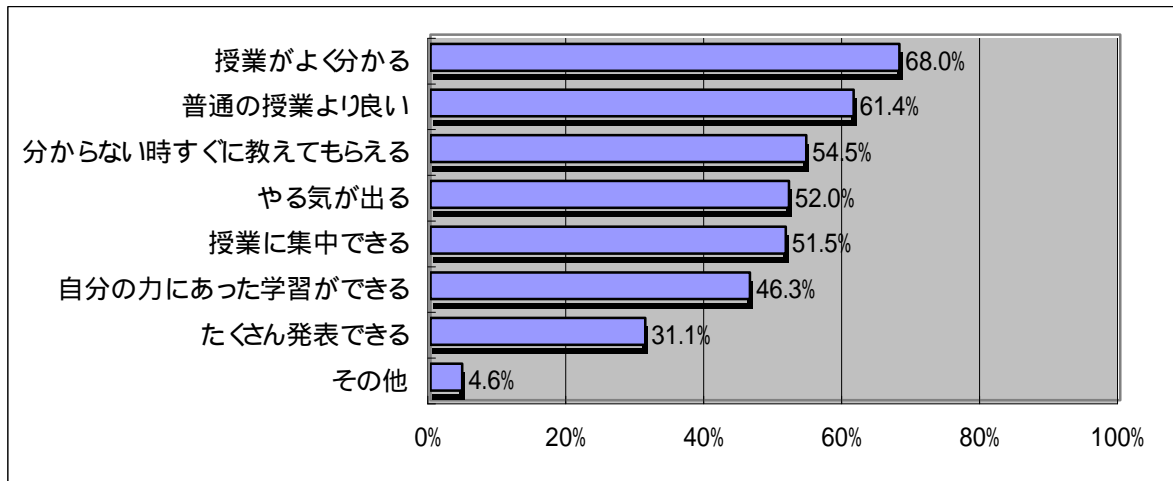
- ・ 学習の準備物が揃っていない、学習中の姿勢が悪いなど、より多く注意ができるので、子ども達の意識も変わってきた。

その他

- ・ 担任以外の教員が関わるが多くなることから、多くの目で児童を見ることができ。また、学年全体の児童を理解するのにも有効である。
- ・ 所属学級だけでなく、他の学級の児童と新しい人間関係を築くきっかけとなる。

どのような効果があったか（児童の回答）

回答数 1,237 人 （ 38 校 ） 複数回答

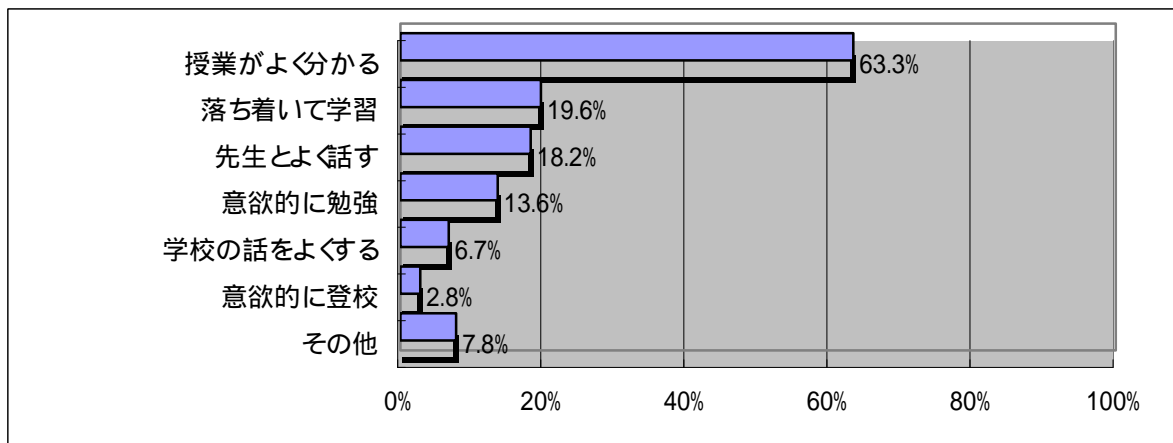


【意見】

- ・ 先生が2人だと、ノートなどを見る時間が早くて良い。
- ・ 苦手な教科が好きになった。
- ・ 少人数より、クラスのみならず仲良く普通の授業がよい。

どのような効果があったか（保護者の回答）

回答数 978 人 （ 38 校 ） 複数回答



【意見】

- ・ 授業についていけない子どもに目が届いて良い。
- ・ 体育などもこのような授業をしていただくとありがたい。
- ・ 少人数での学習は、子どもが質問しやすくいいと思うが、先生が交代したりして教え方が違うと子どもは戸惑うのではないかと思う。
- ・ 学習面での効果はあると思うが、自立心や闘争心の育成などマイナス面もあるのではないかと懸念します。こういった面も検証してほしい。

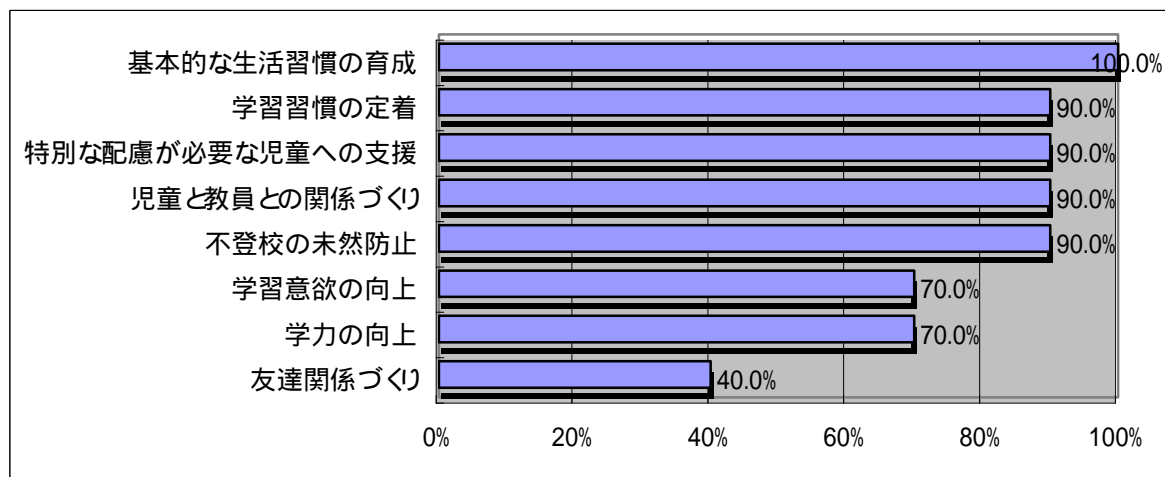
少人数学級編制

どのような効果があったか（学校の回答）

小学校 6 年

回答数 10 校

複数回答



【効果の具体例】

基本的な生活習慣の育成

- ・一人ひとりに目が行き届きやすくなったので、指導もしやすくなった。
- ・教室の机の間やロッカーに余裕があり目が行き届きやすいので、持ち物の整理整頓等の指導がしやすい。

学習習慣の定着

- ・子ども一人ひとりに目が行き届きやすくなり、宿題の提出やノートチェック、筆箱の中身など学習習慣づけの細かな指導ができる。
- ・1時間当たりの発表回数なども増え、発表の習慣が定着する。

特別な配慮が必要な児童への支援

- ・保護者との個別面談や家庭訪問の時間を多くとれ、児童に十分な指導ができた。
- ・薬を服用している児童に対して、より十分な配慮ができるようになった。

児童と教員との関係づくり

- ・一人当たりの声かけ（指導）の時間が長くとれたことで、素直に担任の話を聞ける子が多くなった。

不登校の未然防止

- ・少人数になったことで発表しやすく、発言機会も増えることで、学級内の存在感が高まり、元気に登校したり学校生活を過ごす児童が増えた。

学習意欲の向上

- ・一人ひとりのつまづきを細かく把握でき、適切なアドバイスをすることで、児童が意欲的になった。

学力の向上

- ・理科の観察、実験では、1グループの人数が少なく、個々に実験しやすくなった。
- ・5年生の時、国語の50問漢字テストで20点しかとれなかった児童に対し、6年生で繰り返し指導（練習）したことで、90点以上の点数がとれるようになった。

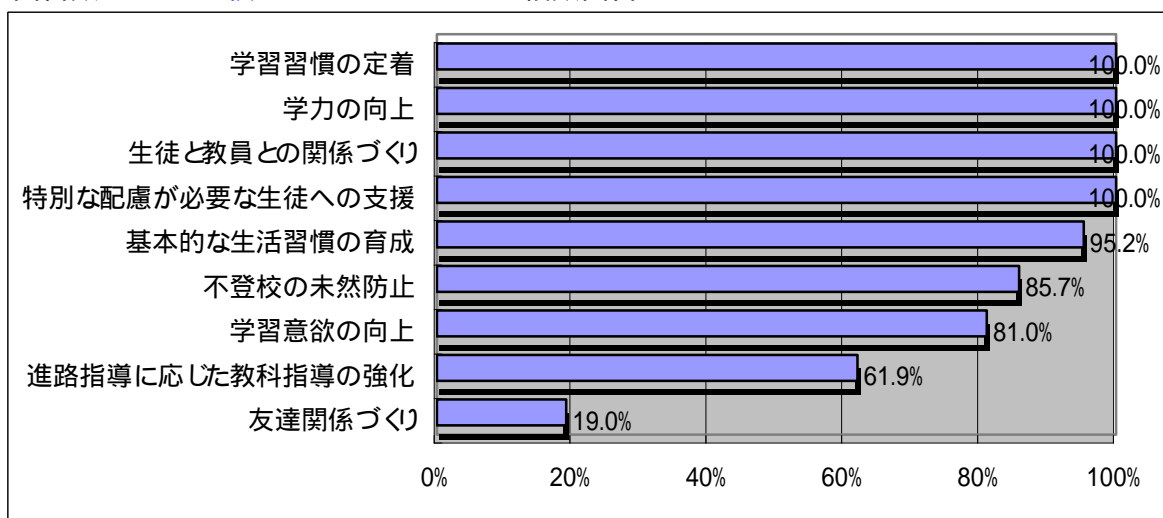
友達関係づくり

- ・児童間のトラブルに迅速な対応ができた。

中学校 1年

回答数 21校

複数回答



【効果の具体例】

学習習慣の定着

- ・学習用具や提出物を短時間で点検でき、忘れ物の多い生徒に個別指導ができる。（宿題忘れゼロを目指し、きちんと完成させるように指導した結果、宿題忘れをする生徒は徐々に減少した。）
- ・授業において生徒一人ひとりにじっくり時間をかける指導ができる。特に理科や実習に伴う教科において器具を一人一台使用できる。

学力の向上

- ・中学校での学習の進め方が変わることも配慮しやすい。
- ・つまづいている生徒に対し、個別に指導することで、学力の底上げができた。

生徒と教員との関係づくり

- ・学級の生徒全員に毎日一声かけることを目標としており、それが実現できている。生徒同士のトラブルや学習、集団への不適応も、早期発見できるチャンスが多くあることから、早期に対応できているケースが多い。
- ・生徒が提出する生活ノートの返事が丁寧になり、生徒の様子を把握しやすくなったことで、さまざまな問題が解決し、教員と生徒の関係づくりができた。

特別な配慮が必要な生徒への支援

- ・ 配慮を要する生徒を中心とした学級経営や授業を行うことができ、他の生徒の理解や支援も深められる。
- ・ 配慮を要する生徒の保護者との連携を深められる。
- ・ 通常より学級数が多いため、人間関係でトラブルを抱えている生徒同士を分散して指導することができた。

基本的な生活習慣の育成

- ・ あいさつや服装等の指導が行き渡る。
- ・ 学級での係活動や行事での係を全員に振り分けることができるので、責任感を持たせられる。

不登校の未然防止

- ・ 一人ひとりの些細な変化にも目が届くようになり、問題を抱える生徒の対応ができることから、早期に問題解決ができるようになった。

学習意欲の向上

- ・ 生徒一人当たりの発言回数が増えており、特に、指名して多人数に発表させる場面での発言が多くなった。
- ・ 学習の進み具合に応じて助言しやすくなるので次の段階への学習の意欲づけができる。また、学習結果についての評価も手厚くすることができるので自信を持たせて次の段階に進むことができる。

進路指導に応じた教科指導の強化

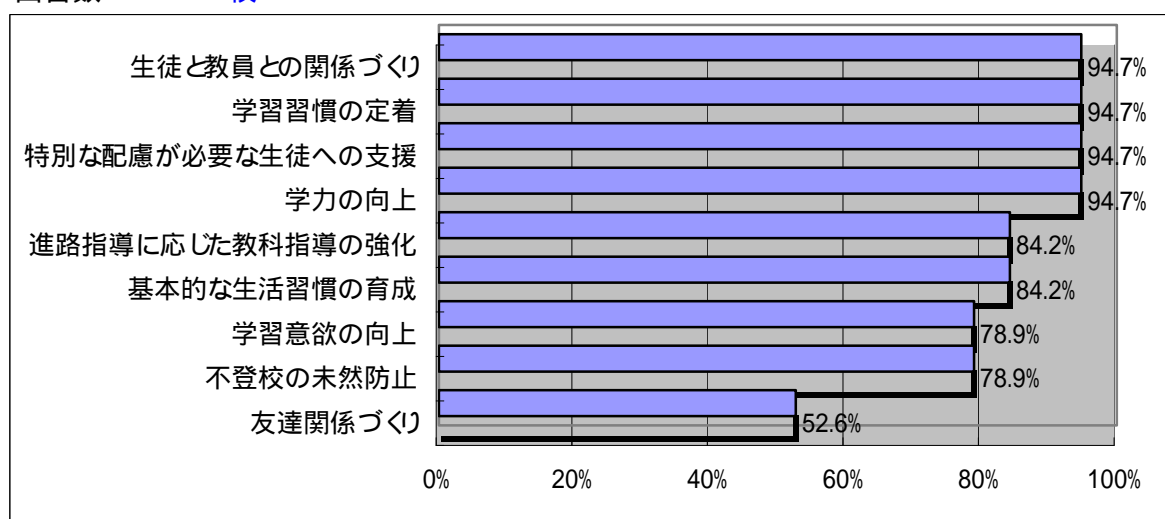
- ・ 生徒の進路希望に関して、学級担任から教科担任に対して十分な情報を提供でき、授業に活かすことができた。

友達関係づくり

- ・ 学級内の人間関係のトラブルに早めに対応でき、関係悪化を最小限にすることができた。

中学校2・3年

回答数 19校



【効果の具体例】

教師と児童生徒との関係づくり

- ・多くの生徒と会話することができるため、生徒から話しかけてくることが多くなった。
- ・生活ノートに悩みなどの心情を書いてくれることが多くなった。

学習習慣の定着

- ・家に帰ってからの宿題のやり方等についてもアドバイスできることから、宿題の提出状況が改善され、家庭学習の習慣が身についてきている。
- ・ノートの取り方や学習の進め方などのアドバイスが行き届く。

特別な配慮が必要な児童・生徒への支援

- ・配慮を必要とする生徒がいきいきと活動できる学級づくりができる。
- ・生徒と話をする機会が多く持てることから、問題行動を起こしそうな生徒の気持ちを聞くことで、予防ができた。

学力の向上

- ・一人ひとりの学習のつまずきがよく分かる。
- ・理科では、1班当たりの人数が少なくなり、実験操作する機会が増加して「観察実験の技能表現の力」を伸ばすことができる。

進路指導に応じた教科指導の強化

- ・希望する高校を見据え、得意な教科や苦手な教科に対する個別の対応ができた。

基本的な生活習慣の育成

- ・生活・学習両面において細かくアドバイスでき、小さなことでも見つけて褒めてあげることができる。

学習意欲の向上

- ・生徒一人ひとりに応じた学習指導がしやすくなるため、生徒の理解度や定着度も高まり、学習意欲も向上してきている。

不登校の未然防止

- ・生徒との教育相談や家庭との連絡を密に取り合うことが多くなり、不登校への未然防止に効果があった。

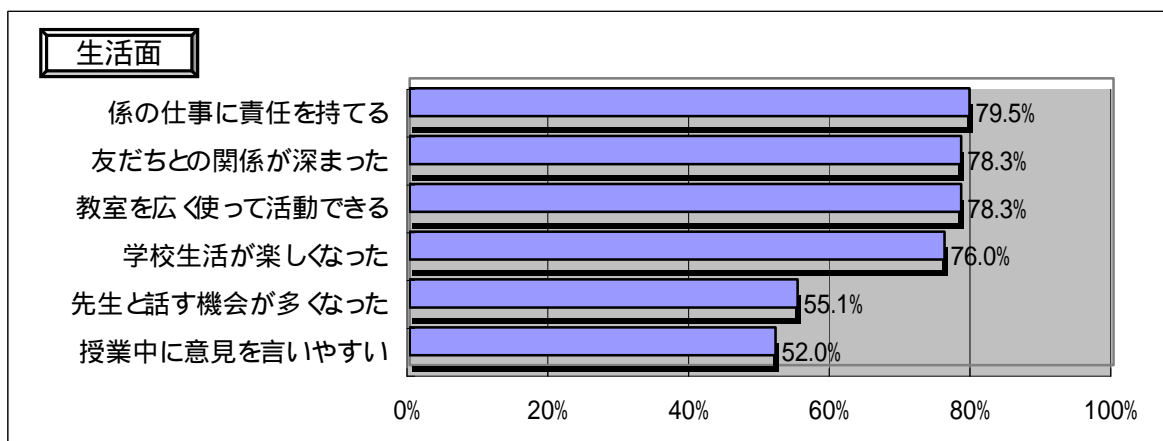
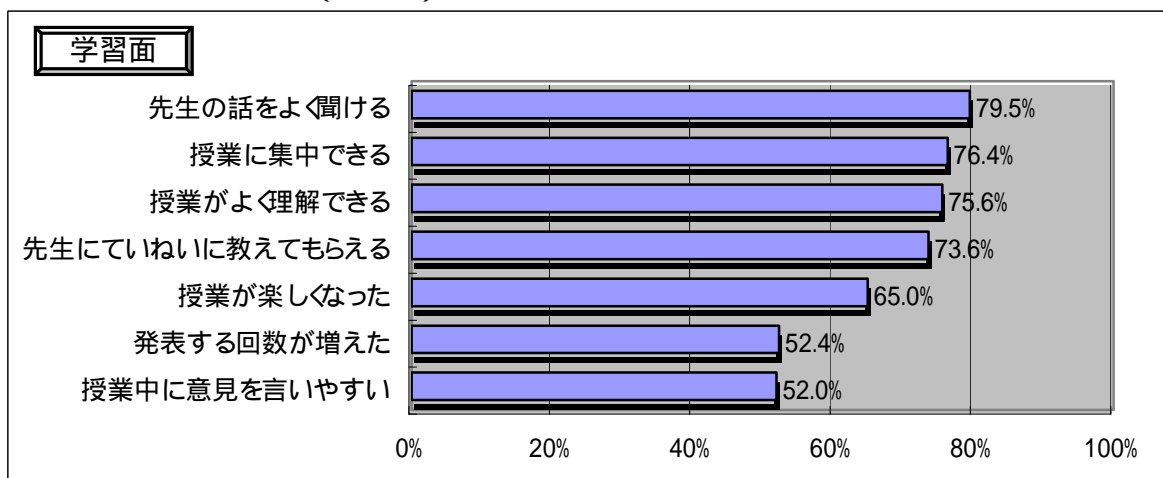
友達関係づくり

- ・少人数で関係が密になり、クラスのメンバーが仲良く、わからないことを教え合ったり、助け合ったりしている。

どのような効果があったか（児童・生徒の回答）

小学校 6 年

回答数 254 人 （ 10 校） 複数回答

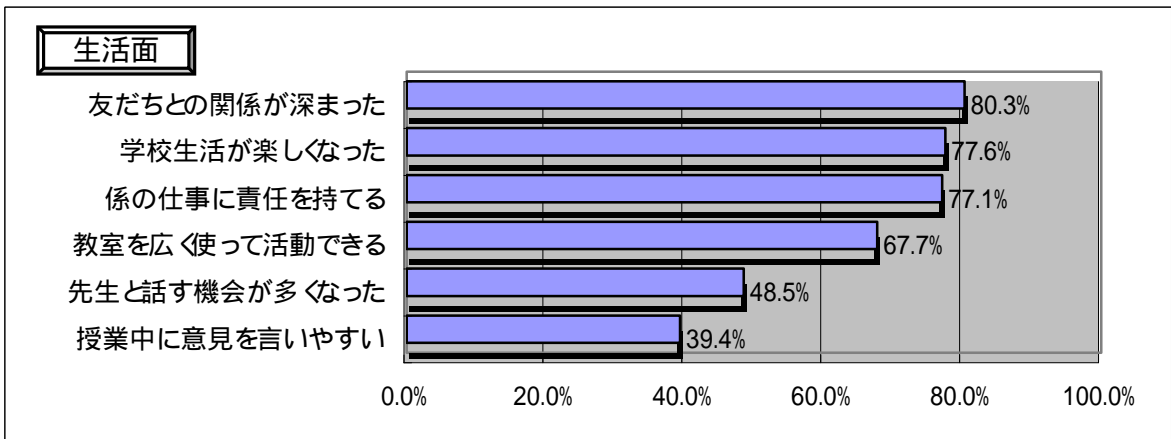
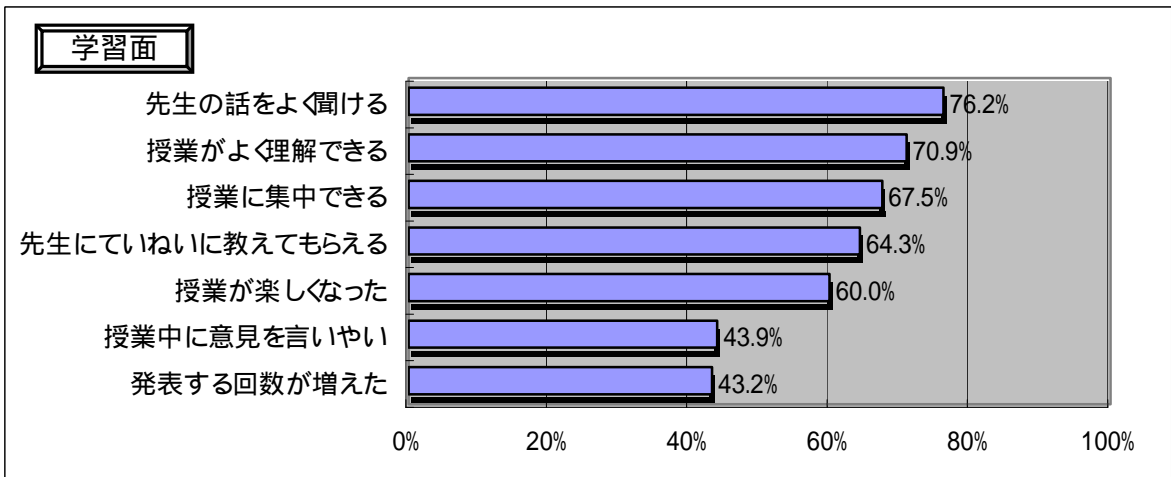


【意見】

- ・ リーダーになることが多くなった。
- ・ 授業は聞きやすくなったが、5年生の時の方が人数が多くて楽しかった。
- ・ 気の合う友達とクラスが分かれてしまった。

中学校 1 年

回答数 437 人 (21 校) 複数回答

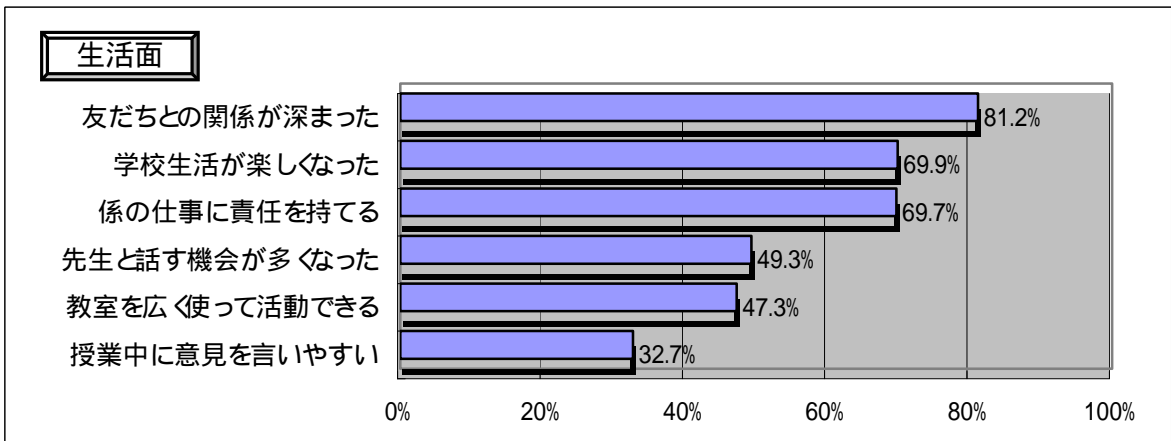
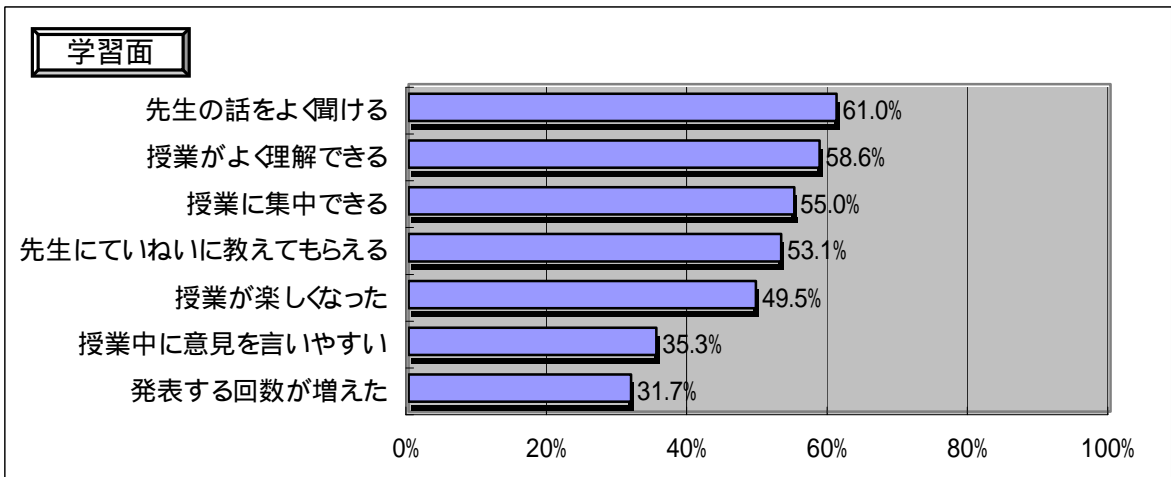


【意見】

- ・ 人との関わり合いが増えた。
- ・ 静かに授業に集中できる。
- ・ 人数が多い方が、にぎやかで楽しかった。

中学校2・3年

回答数 584人 (19校) 複数回答



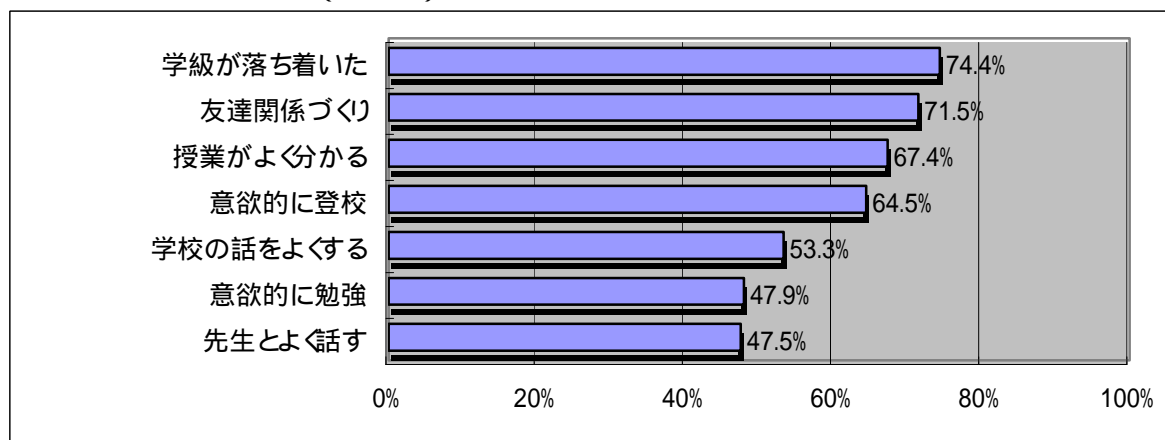
【意見】

- ・ 1年生のときよりも学級の人数が増えたので、できれば人数が少ないほうが良い。
- ・ 友達が増え、関わりも多くなった。

どのような効果があったか（保護者の回答）

小学校 6 年

回答数 242 人 （ 10 校） 複数回答

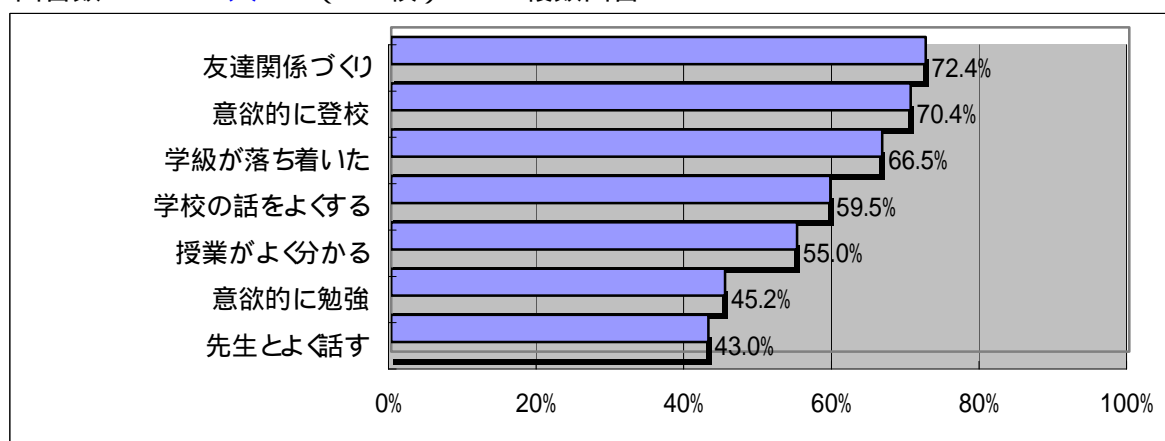


【意見】

- ・先生に余裕ができたことで、笑顔が増え、児童に優しく接するようになったようでよかった。
- ・学級全体がまとまってきた。
- ・クラスの雰囲気がよく分かり、他の子の個性も分かるようになった。
- ・6年生からではなく、5年生から2年間じっくり過ごさせてほしい。

中学校 1 年

回答数 442 人 （ 21 校） 複数回答

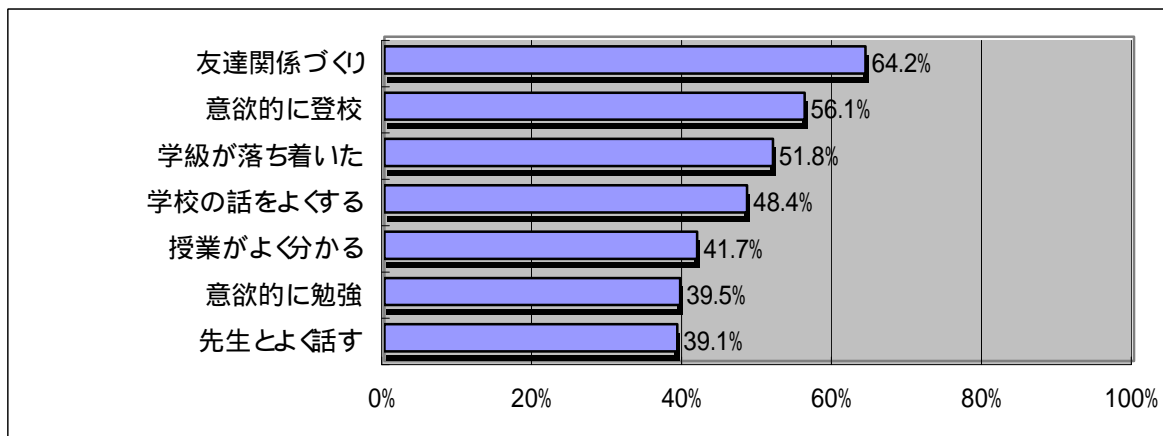


【意見】

- ・子どもの話す友人の名前と顔が分かり安心できる。
- ・クラス全体が落ち着いた雰囲気ですべての子どもの表情が明るい。
- ・人数が少ないだけに、人間関係が気になる。
- ・すべての学年が30人体制になるようお願いします。

中学校2・3年

回答数 494人 (19校) 複数回答



【意見】

- ・ 生徒間のコミュニケーションが密になってよい。
- ・ 学習的には1クラス当たりの人数が少ない方がよいが、合唱コンクール等では人数が増えてよかった。
- ・ 大事な学年で人数が増えるのは心配だ。
- ・ 人数が影響するのではなくクラス替えをすることが子供の負担となる。
- ・ 少人数学級制は大変よいことだと思うので今後も続けられる事を希望します。できれば3年間の少人数制がよい。